

令和3年度
事業報告書



社会福祉法人
千葉アフターケア協会

目 次

はじめに	2
【法人全体の取り組み】	
中長期目標について	3
令和3年度法人目標について	4
【令和3年度業績報告】	4
【令和3年度資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表の抜粋】	6
【役員会等開催報告】	7
事務局	9
<u>障害者支援施設ハピネス浜野</u>	10
生活介護	11
施設入所支援	12
短期入所	13
医務室・訓練室	13
【利用者行事等実施報告】	14
【利用者週間活動実施報告】	16
【ヒヤリハット・事故報告】	16
【千葉県への事故等報告】	17
<u>相談支援事業所ハピネス浜野</u>	
計画相談支援・障害児相談支援	19
<u>児童通所支援事業所ハピネス浜野</u>	20
児童発達支援・放課後等デイサービス	21
<u>グループホームセレニテ</u>	
共同生活援助	24
【法人職員研修・実習生受け入れ等実施報告】	25
【法人内委員会・諸会議実施報告】	26
令和3年度委員会会議・研修等実施表	30

はじめに

令和3年度は、前年同様、新型コロナウイルス感染症の予防対策を実施した。

各事業所内の館内消毒、マスク着用、3密を防止するなど対策を徹底したほか、PCR検査の実施、ワクチン接種を積極的に行った。一部の職員家族に陽性者が発生し、職員も陽性者となったが、特別休暇を取得させるなど対策を行い、施設内の感染拡大にはならなかった。

また、入所利用者の外出泊を月に2回までとし、通所利用者と入所利用者の接触を避けるなど、利用者にも感染防止対策にご協力をいただいた。利用者は感染予防の観点から利用自粛も見られたが、収入の大幅な減少には至らなかった。

【事業報告書において記載されている主な内容】

- ・今年3年度の目標やサービス方針に対しての報告事項
- ・今年3年度当初予算対比の結果
- ・直近5年間の利用者の推移
- ・行事等実施報告
- ・事故に関する報告

【役員等総数】※令和4年3月31日現在

理事 6名

監事 2名

評議員 8名

評議員選任解任委員 4名（外部委員2名）

【職員総数】※令和4年3月31日現在

59名

【法人全体の取り組み】

中長期（平成31年度から3年間）目標について

1. 地域と共にある施設づくり

- ①防災を中心とした地域との連携による利用者の安全確保体制の強化
- ②地域住民や利用者家族からの要望に対し誠実に取り組む

[報告事項]

- | |
|--------------------------------------|
| 1) 新型コロナウイルス感染予防に必要な備品の確保に努めた。 |
| 2) 認知症カフェ「濱野館」は新型コロナウイルス感染予防のため休館した。 |

2. 社会福祉法人の使命の追及

- ①利用者の尊厳を保持し、安心・安全な介護サービスの提供を推進する
- ②快適な暮らしを提供するための施設整備の充実
- ③開かれた法人運営
- ④社会福祉充実計画の実施と検討

[報告事項]

- | |
|---|
| 1) 3階の一般浴槽を改修し、機械浴槽を設置した。 |
| 2) 2階、3階利用者居室と利用者用トイレの劣化している引き戸ゴムを全て交換した。 |

3. 施設・職場環境の整備

- ①チームワークによる支援体制の充実を図る
- ②職員教育制度の充実を図る
- ③働き方、考え方の多様性を尊重し、職員の職場定着を図る

[報告事項]

- | |
|--|
| 1) 昨年度実施した4S運動（整理・整頓・清掃・清潔）を千葉県身体障害者施設協議会の職員研修会で発表した。 |
| 2) 感染予防のため手洗いの研修、不適切なケアについての研修等、委員会活動が活発だった。 |
| 3) 介護福祉士実務者研修（受講者5名）を実施し、全員修了した。また、介護福祉士国家試験の受験者（3名）が合格した。 |
| 4) 職員紹介制度の活用者が3名で、正職員・パート職員の紹介であった。 |

採用6名（入職率：令和元年度 14/54 25.0% 2年度 13/62 21.0% 3年度 6/59 10.2%）
退職7名（離職率：令和元年度 11/54 20.0% 2年度 07/62 11.3% 3年度 7/59 11.9%）

令和3年度法人目標について

法人の総合力を高める

～利用者の生活を守る施設づくり～

- 防災や感染症対策の強化
- 災害や感染症に対する情報共有と迅速な対応

[報告事項]

- 1) 3名の職員が家庭内感染したが、新型コロナウイルス感染予防等対策を実施し、施設内の他職員や利用者へ感染拡大とならず、事業運営に大きな支障はなかった。
- 2) 感染症の情報は、行政通知等をインターネット伝言板や文書を通じて共有に努め、全体会議等で説明し、理解不足が生じないように努めた。利用者・家族に対して、迅速に感染等の情報を提供した。
- 3) 自家発電設備設置に伴い、電気の供給箇所を精査した。
- 4) 備蓄食や必要備品の確保や使用方法を周知した。

【令和3年度業績報告】

1 事業の経過及びその成果

サービス活動収益について

- 1) 令和3年度は、介護報酬改定や介護職員処遇改善加算等もあったが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、各事業の当初予算を前年実績同様とした。
- 2) 各事業とも平均利用者数が当初予算とほぼ同等となった。

補助金・助成金申請について

- 1) ハピネス浜野建設時の設備資金借入金返済元金 11,000 千円と利子 242 千円に対して、千葉市から 3/4 額の補助金があった。
- 2) 特定求職者雇用開発助成金として、千葉労働局から 66,666 円の補助があった。

支出について

<建物・設備等>

固定資産取得支出の合計金額 25,730,290 円

浴室改修工事、機械浴槽、ストレッチャー2台、機械室吸排気送風機、移乗サポートロボット Hug、低床ベッド2台、エアートランポリン、業務用給湯器等を整備した。

<人件費・事業費・事務費>

(指標%)	令和2年度	令和3年度	前年比
人件費率 (60~70%)	65.5%	63.2%	2.3%減
事業費率 (13~15%)	13.0%	12.4%	0.6%減
事務費率 (13~15%)	16.7%	17.2%	0.5%増

<積立金>

- ・ハピネス浜野にて、3階浴室改修工事時に取崩した為、修繕積立金に10,000,000円、備品等積立金に5,000,000円の積み立てをした。

法人全体での予算・実績対比と前年度との比較

- 1) 資金収支計算書上の決算額は、概ね予算どおりの内容となった。
- 2) 事業活動計算書について、サービス活動収益は前年と比較して7,538千円の増益となった。
- 3) 今年度の経常増減差額は2,100千円となった。

社会福祉充実計画について

ハピネス浜野にて、介護福祉士実務者研修を正規職員4名、非常勤職員1名に実施した。

2 予算・決算差異【資金収支計算書】

(単位：千円)

	予 算	決 算	差異 (予算-決算)	
事業活動収入	363,155	361,512	△1,643	(99.5%)
事業活動支出	337,906	333,457	△4,449	(98.7%)
事業活動資金収支差額	25,249	28,055	2,806	
施設整備等収入計	8,450	8,450	0	(100.0%)
施設整備等支出計	39,653	39,062	△591	(98.5%)
施設整備等資金収支差額	△31,203	△30,612	591	
その他の活動収入計*	21,500	21,450	△50	(99.7%)
その他の活動支出計*	12,046	16,816	4,770	(139.5%)
その他の活動資金収支差額	9,454	4,634	△4,820	
予備費支出	3,500	0	3,500	
当期資金収支差額合計	0	2,076	2,076	

*拠点区分間繰入金収入・支出及び、サービス区分間収入・支出も予算を立てたため。

3 収支の推移【事業活動計算書】

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	対 比	
サービス活動収益	350,775	358,313	7,538	(102.1%)
サービス活動費用	357,955	356,907	△1,048	(99.7%)
増減差額	△7,180	1,406	8,586	
サービス活動外収益	2,652	3,198	546	(120.6%)
サービス活動外費用	3,947	2,505	△1,443	(63.5%)
サービス活動外増減差額	△1,295	693	1,989	
経常増減差額	△8,475	2,100	10,575	
特別収益	12,257	9,850	△2,407	(80.3%)
特別費用	15,621	1,516	△14,105	(9.7%)
特別増減差額	△3,364	8,334	11,698	
当期活動増減差額	△11,839	10,434	22,273	

4 資産・負債の推移【貸借対照表】

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	対 比	
流動資産	97,925	99,808	1,883	(101.9%)
固定資産	1,071,664	1,059,643	△12,021	(98.9%)
資産合計	1,169,589	1,159,451	△10,137	(99.1%)
流動負債	25,102	26,466	1,364	(105.4%)
固定負債	27,837	23,616	△4,221	(84.8%)
負債合計	52,939	50,082	△2,857	(94.6%)
純資産	1,116,650	1,109,369	△7,280	(99.3%)

【役員会等開催報告】

1. 監事監査

令和3年5月20日（木）

令和2年度法人事業経営の監査

2. 理事会

第1回理事会 令和3年4月21日（水）

議題 第1号議案 新評議員候補の推薦について

第2号議案 新評議員選任・解任委員候補の推薦について

第3号議案 新理事・監事候補の推薦について

第4号議案 パートタイマー等就業規則の一部改正について

第5号議案 給与規程及びパートタイマー等給与規程の一部改正について

第2回理事会 令和3年6月1日（火）

議題 第1号議案 令和2年度事業報告（案）について

第2号議案 令和2年度決算報告（案）について

第3号議案 社会福祉充実計画（案）について

第4号議案 定時評議員会の招集について

第3回理事会 令和3年6月17日（木）

議題 第1号議案 理事長、業務執行理事の選定について

第2号議案 退任慰労金について

第4回理事会 令和3年8月18日（水）

議題 第1号議案 業務専決規程の改正について

第2号議案 相談役の委嘱について

第5回理事会 令和3年11月4日（木）

議題 第1号議案 3階浴室の改修等について

第2号議案 令和3年度第一次補正予算（案）について

第3号議案 給与規程の一部改定について

第4号議案 新型コロナウイルス対策特別手当の支給について

第6回理事会 令和4年1月19日（水）

議題 第1号議案 給食業務委託について

第7回理事会 令和4年3月16日(水)

議題 第1号議案 令和3年度第2次補正予算(案)について

第2号議案 令和4年度事業計画(案)について

第3号議案 令和4年度当初予算(案)について

第4号議案 施設長(業務執行理事)の解職について

第8回理事会 令和4年3月29日(火)

議題 第1号議案 施設長及び参与の選任について

3. 評議員会

第1回評議員会 令和3年6月17日(木)

議題 第1号議案 令和2年度事業報告書の承認について

第2号議案 令和2年度決算報告書の承認について

第3号議案 社会福祉充実計画の承認について

第4号議案 次期理事、監事の選任について

事務局

1 法人事務

[報告事項]

- 1) 介護福祉職員等処遇改善加算特例交付金の事務処理を実施し、法人職員へ支給することができた。
- 2) 税理士との打合せを月1回行い、適切な会計処理に努めた。
- 3) 施設備品は、不注意による破損等があり、修繕が多く発生した。
- 4) 入札により給食委託業者を選定した。
- 5) プロポーザル方式により3階浴室改修業者を選定した。
- 6) 施設管理では、軽微な車両事故や備品の紛失などが続いたので、報連相の実施や備品の管理を見える化するよう取り組んだ。

2 防犯、防災計画

[報告事項]

- 1) 緊急連絡訓練実施 (6/27)
- 2) 消火器訓練実施 (9月)
- 3) 消防通報訓練を含む火災総合訓練実施 (11/17)
- 4) 夜間想定避難訓練実施 (3/16)

3 広報活動

[報告事項]

- 1) ハピネス通信、SNS、掲示板にて利用者の日常の様子等、法人からの発信を積極的に行った。
- 2) ホームページ上に、実務者研修実施の告知、財務関係書類や児童発達支援事業の事業所評価を公開した。

4 食事提供

[報告事項]

- 1) 食事形態を話し合い、利用者の状況に合わせて適宜変更を行った。
- 2) 行事食は季節のメニューを月1回のペースで提供し、ステイホームパーティーやクリスマス会、季節の行事等に合わせた特別メニューやリクエストで新メニューを実施した。
- 3) 体重が急激に減少してしまった方へは、医務室と連携し、補助食やメニューの改善を行った。
- 4) タンパク質、カルシウム、鉄分等の摂取に注意し、適切な食事提供に努めた。

障害者支援施設ハピネス浜野

(生活介護・施設入所支援・短期入所)

目標

- ・個別支援計画の理解並びに利用者支援の実施と記録の充実を図る
～行事、サークル活動の計画的な実施と選択できる介護サービスの提供～
- ・利用者の生活の場である施設を安全、快適に管理する
～福祉用具の活用と職員研修を通じて安全な移乗を実施
4 S活動を活かした日々の点検・清掃、感染予防に努める～
- ・組織の一員としての資質を養う
～モデル行動の励行、職能要件書に基づく業務レベル向上の為に自己研鑽、
啓発に努め、職員間のバックアップ体制を整える～

[報告事項]

- 1) 個別支援計画書の理解、実践に努め、支援グループを通じて、様々な利用者の日常生活上の課題を検討し、支援内容の充実を図った。
- 2) 誤薬の介護事故から発した服薬チェックの方法の改善により、ダブルチェック、声出し確認、チェック表の記入が徹底され、与薬介助の事故は減少した。
- 3) 新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、外部からの人の出入りを極力抑制し、フロアごとの活動を遵守した。検温や消毒を随時行い、健康管理、衛生管理に努めた。
- 4) 送迎ドライバーの委託業者と数回のミーティングを行い、安全な送迎車運行に努めた。また、災害時を想定した運行ルートの見直しを行い、必要な備品も車両ごとに揃えた。職員に対して車両・添乗業務の理解を深める機会を作った。

【利用者年齢構成】

令和4年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
入所利用者	男	0	1	1	5	4	5	0	16
	女	0	0	2	4	3	5	2	16
通所利用者	男	0	13	5	2	2	1	0	23
	女	1	5	1	2	2	0	0	11
計		1	19	9	13	11	11	2	66

【利用者平均年齢】

入所利用者 54歳

通所利用者 33歳

生活介護

目標

- ・日々、安全で快適な一日が過ごせるよう、安全な送迎車の運行、利用者の健康チェックを実施する。

[報告事項]

1) 日中活動
初めて中庭でプール活動を実施した。感染対策のため少人数のグループで実施したが、楽しく活動できた。また、季節感を感じさせる装飾等の作品制作やサークル活動も実施した。特に、クリスマス会は通所、入所利用者合同で出し物や食事を楽しむことができた。
2) 日々の生活場面
可能な限り利用者にマスク着用を促し、入所利用者と通所利用者の活動分離は継続した。自宅からの健康チェックカードの記入は、ほぼ定着し、登所時の健康観察、自家送迎利用者の玄関での受け入れを徹底した。また施設内の換気の励行、食事や活動時は三密を避けた配置を行った。
3) 他施設との連携
生活介護を併用している利用者や他事業所からの感染に関する連絡には即座に対応し、個々の状況によっては利用期間の制限を行った。また事業所間で情報を共有し、感染拡大予防に努めた。
4) 送迎サービス
ドライバーと添乗員が協力し、運行中の車内の換気や消毒を実施した。

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数 (名)	13,728	13,587	△141
1日あたり平均利用者数 (名)	52.6	52.1	△0.5 (99.0%)
事業収入 (千円)	211,596	211,876	280 (100.1%)

【直近5年間の利用者の推移】

	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度
利用者定員 (名)	60	60	60	60	60
1日あたり平均利用者数 (名)	54.7	52.3	52.5	52.3	52.1
稼働率 (%)	91.1	87.1	87.5	87.2	86.7
稼働日数 (日)	257	256	262	261	259
利用者延べ人数 (名)	14,061	13,394	13,763	13,649	13,587
事業収入 (千円)	196,748	197,680	205,828	208,869	211,876
平均障害支援区分	5.4	5.3	5.7	5.5	5.8

施設入所支援

目標

- ・利用者の日々の心身の変化を理解し、感染予防に努める。
- ・福祉用具等を活用することで環境を整え、安全で適切な支援に努める。

[報告事項]

1) 健康管理・感染対策
<p>医務室と連携を図り、利用者の体調の変化に留意し、早期発見、早期治療に繋げた。</p> <p>食事や活動時は三密を避けた配置を継続し、消毒やマスク着用を促した。外出泊、面会の回数を制限し、保護者の送迎を玄関までとして、休日の健康観察を行った。</p>
2) 活動等について
<p>地域の行事はすべて中止となった。2回目のステイホームパーティーはテーマを決めてねむの木広場で食事や催し物を楽しんだ。また、平日に通所利用者と活動を分離していることから休日にねむの木広場を活用して、ポッチャ等のスポーツを行った。</p>
3) 利用者懇話会（2回実施）
<p>施設からの連絡事項の伝達や、利用者との意見交換を行った。</p>
4) 支援内容等
<p>福祉用具 Hug やリフトを活用し移乗介助を実施するなど、利用者、職員ともに体の負担を減らした安全な支援を実践した。</p>

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	11,497	11,493	4
1日あたり平均利用者数（名）	31.5	31.5	0（100%）
事業収入（千円）	75,430	78,421	2,991（103.9%）

【直近5年間の利用者の推移】

	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度
利用者定員（名）	32	32	32	32	32
1日あたり平均利用者数（名）	31.2	30.8	30.8	31.4	31.5
稼働率（%）	97.5	96.2	96.2	98.1	98.4
稼働日数（日）	365	365	366	365	365
利用者延べ人数（名）	11,393	11,264	11,302	11,462	11,493
事業収入（千円）	67,342	69,536	73,591	75,549	78,421
平均障害支援区分	5.3	5.3	5.4	5.3	5.4

短期入所

目標

- ・利用者や家族の生活状況に応じ、希望に沿って利用いただけるよう調整に努める。

[報告事項]

- 1) 家族の送迎を玄関までとする、ワクチン接種の確認等の感染防止対策を図った。
- 2) できる限り希望に沿った利用ができるよう調整を行った。恒常的に利用する利用者、緊急利用が必要な利用者のベッドコントロールが柔軟に対応出来た。

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数 (名)	1,934	1,791	△143
1日あたり平均利用者数 (名)	5.3	4.9	△0.4 (92%)
事業収入 (千円)	24,324	22,944	△1,380 (94.3%)

【直近5年間の利用者の推移】

	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度
利用者定員 (名)	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数 (名)	5.5	5.0	5.2	5.3	4.9
稼働率 (%)	91.7	83.3	86.6	88.4	81.6
稼働日数 (日)	365	365	366	365	365
利用者延べ人数 (名)	2,003	1,825	1,917	1,935	1,791
事業収入 (千円)	19,342	23,642	23,427	23,925	22,944
平均障害支援区分	5.2	5.5	5.3	5.8	5.7

医務室

[報告事項]

- 1) 定期通院は家族対応にて月平均14件、皮膚科(レインボー皮膚科)受診は昨年度に引き続きコロナ感染症感染予防の為、不要な外出は避ける為皮膚科医師と相談しながら症状が安定している場合の定期受診は2か月に1回で経過観察を行った。また嘱託医診察時に皮膚状態を確認してもらい必要時外用薬等処方された。
臨時通院は月平均1~2件でほぼ施設対応、不明熱1件、蜂窩織炎2件、尿路感染、膀胱炎4件粉瘤腫1件、ウイルス性発疹1件、霰粒腫1件、転倒や圧迫による打撲等4件、救急車対応1件(SS利用者、誤嚥窒息の為)あった。
- 2) 日々の体調管理と服薬管理として、毎月1回嘱託医が入所利用者の診察を実施した。
- 3) 月2回の歯科医師による訪問診療にて入所利用者中心に健診と歯石除去、虫歯治療や入れ歯の作成などが実施された。
- 4) 入所者7名(希望者)に大腸がん健診実施、結果全員陰性。

- 5) 入所利用者（希望者）に対し 65 歳以上 5 名に対しコロナワクチン 1 回目、2 回目 6 月に接種。65 歳以下 24 名+S S利用者 1 名+グループホーム利用者 4 名、1 回目回目と時期を分けて 9 月～10 月にワクチン接種実施。コロナワクチン 3 回目 65 歳以上 5 名 3 月に実施。11 月に入所利用者 31 名+S S1 名+グループホーム利用者 5 名インフルエンザ予防接種実施。
- 6) 施設利用者の病状変化に伴い医療ケア（尿留置カテーテルの交換と管理、経管栄養、ネブライザー吸入、気管内、および口鼻腔内吸引、呼吸管理など）を実施した。
- 7) 利用者の体重変化の観察、栄養士と共に栄養マネジメントを実施し、体重減少者に対しては嘱託医診察時に相談し、栄養補助（エンシュア等）にて体重管理を行った。
- 8) 入所利用者 32 名と短期入所利用者 1 名に定期健康診断を年 2 回実施、結果は嘱託医および家族に連絡し、主治医への連携も図った。
- 9) コロナ感染対策として毎日の管内消毒、また利用者、職員へのソーシャルディスタンス、マスク着用、手洗いの必要性を伝え、感染対策への意識付けを行った。
- 10) 今後さらに医療ケアの必要度が増し、加齢に伴う疾患も出てくる為、疾病予防や早期発見に力を入れるとともに感染予防の徹底を行い、サービスの低下をきたさないよう努めていきたい。

訓 練 室

[報告事項]

- 1) 利用者と、利用者を取り巻く様々な環境の適合状況を評価し、必要に応じて調整、変更してきた。利用者には電動車いす等による自発的な移動能力の向上を、また、利用者の日常生活場面の維持、改善の一環として 3 階浴室改修について理学療法士の立場から提案させていただいた。
- 2) 補装具の新調・修理にあたっては身体機能と日常の使いやすさに留意した。業者へ依頼した件数は、車いす新調納品済み 2 件、修理納品済み 1 2 件、装具新調納品済み 1 件であった。

【利用者行事等実施報告】

月	行 事	場 所	行事食・その他
4 月			お花見松花堂弁当
5 月	千葉県障害者スポーツ大会 (9 日) → 中止 ボッチャ大会 (30 日)	青葉の森陸上競技場 ねむの木広場	端午の節句メニュー
6 月			リクエストメニュー コロナワクチン接種
7 月	七夕飾り プール活動 (26 日～)	各階フロア 中庭	七夕メニュー コロナワクチン接種
8 月	プール活動 (~31 日) ステイホームパーティー (28 日)	中庭 ねむの木広場	精進料理 パーティーメニュー
9 月	ほっともっと弁当 or マクドナルドの選択メニュー (11 日)	各階フロア	月見ハンバーグ 利用者健康診断 コロナワクチン接種

10月	懇話会(20日) ハロウィンウィークゲーム大会(25日～31日)	3階(すずかけ) 各階フロア	ハロウィンメニュー パーティーメニュー コロナワクチン接種
11月			リクエストメニュー インフルエンザ予防接種
12月	クリスマス会(22日)	各階フロア	クリスマスメニュー 冬至メニュー 年越しそば
1月	諏訪神社初詣(1日)	諏訪神社	おせち料理 七草粥・白玉汁粉
2月	節分ゲーム大会(3日)	各階フロア	節分メニュー バレンタインおやつ
3月	ひな壇飾り 懇話会(9日)	ねむの木広場 3階(すずかけ)	利用者健康診断 ひな祭りメニュー ホワイトデーおやつ
毎月	【理美容】 アラモード(第3月曜) 髪人(第3火曜) 【ボランティア活動】 ボッチャ(偶数月 第2水曜) 【サークル活動】 料理、ゲーム、物作り、足浴、音楽、ネイル 【その他】 体重測定(1回) 嘱託医診察(1回) 訪問歯科診療(2回) みんなの声ポスト確認(月初) 味ポスト(随時聞き取り)		

千葉県スポーツ大会

参加希望者を募り、計画を立てていたが、感染拡大予防の為、中止となる。参加予定者は外出として、千葉県ポートタワー周辺の散策を行い、食事はマクドナルドでテイクアウトした。

ステイホームパーティー

2回目となる今回は、テーマを「ハワイアンフェスティバル」とし、コロナ禍でも飛行機に乗ってハワイへの旅行気分が楽しめるよう趣向を凝らし、ハワイアンメニューやフラダンス、花火を行った。

クリスマス会

フィリピンのクリスマス「マリガヤン・バスコ!～世界で一番長いクリスマス」をテーマに掲げ、職員によるクリスマスソングやダンス、ダービーを行った。昼食はフィリピン料理を楽しんだ。この日、職員はサンタ、トナカイの衣装で送迎車を運行。また全利用者にTシャツをプレゼントした。

行事食

季節感や特別行事を意識献立に合わせて食事環境を装飾した。

利用者懇話会

入所利用者の方のみの参加で、感染予防対策や行事、日々の活動、食事について話し合った。

オセロ大会

県身協主催で毎年6月に開催されるが、今年度は感染拡大予防の為、中止となる。

ハーティーコンサート

県身協主催で毎年10月に開催されるが、今年度は感染拡大予防の為、中止となる。

サークル活動

- 1) 物作りサークルでは、ステイホームパーティー、クリスマス会といった二大行事について、テーマに応じた装飾を考え、作成した。また季節感を感じられる室内装飾や、個人が楽しめるスノードーム等、利用者の意見を取り入れながら多様な活動を行った。
- 2) ゲームサークルでは、感染対策を行った上でオセロやポッチャ大会を行い、入所利用者同士がレクリエーションを通じて交流を図った。また生活介護利用者向けに、季節行事としてハロウィン、節分等を企画、実施した。

【利用者週間活動実施報告】

	午前	午後
月曜日	機械浴(男女) 各種個別活動 機能訓練・相談	各種全体活動 機能訓練・相談 機械浴(男)
火曜日	機械浴(男女) 各種個別活動 機能訓練・相談	機械浴(女) 各種全体活動 機能訓練・相談
水曜日	機械浴(男女) 各種個別活動 機能訓練・相談	各種全体活動 誕生日会(最終週) 機能訓練・相談 体重測定 嘱託医診察(施設入所支援利用者のみ)
木曜日	機械浴(男女) 各種個別活動 機能訓練・相談	各種全体活動 機能訓練・相談 機械浴(男) 訪問歯科(施設入所支援利用者のみ)
金曜日	機械浴(男女) 各種個別活動 機能訓練・相談	機械浴(女) 各種全体活動 機能訓練・相談
土曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 居室内環境整備
日曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 居室内環境整備

【発見・ヒヤリハット・事故報告】

1) 発見・気づきシート 計105件

発見(利用者)	36
発見(物)	23
不適切	19
連絡	6
気づき	21

発見(利用者)は、居室内の様子も含め、気づいたことをあげている。発見(物)は、主

に施設設備に関することであった。

2) ヒヤリハット報告 計103件

移動時	2	紛失	1
移乗時	3	その他（設備）	0
食事時	4	その他（利用者）	2
整容時	1	離設（施設外）	0
排泄時	7	送迎時	11
入浴時	1	その他（職員）	2
薬	3	臥床時	3
異物混入	1	フロア移動	8
返却忘れ	19	確認不足	26
物損	3	活動時	3

年度	H31(R1)	R2	R3
件数	73	206	103

報告数は前年度件数の半数と減少した。下期から報告書の目的を「危険予知」とし、簡潔に記載できるよう様式を変更した。また、報告内容に対して、リスクマネジメント委員が分類や再発防止に向けた検討を行い、報告者へフィードバックを実施した。ヒヤリハットとなる前段での発見・気づき連絡シートの内容を精査し、ヒヤリハット報告に転じたものもある。

3) 事故報告 計43件

転倒（自立その他）	5	返却忘れ	0
転倒（要介助）	4	物損	7
転落（自立その他）	3	紛失	2
転落（要介助）	4	その他（設備）	0
外傷	2	その他（利用者）	0
服薬ミス	7	離設（施設外）	2
異食・誤飲	0	他害	2
異物混入	1	その他（職員）	3

年度	H31(R1)	R2	R3
件数	55	153	43

前年度より、7割減となり、ヒヤリハット報告よりも半数となった。事故に対する意識が向上したともいえるが、服薬（落薬・残り等）の事故報告が多い。結果的に利用者の身体的損傷等がなくても、ヒヤリハット報告同様、発見・気づき連絡シートから事故と判定したものも含まれている。

【千葉市への事故報告 5件】

1) 入所利用者 男性 61歳 区分6 ADL一部介助

普段から車いすで自走している入所利用者が居室内で床に座っているのを発見。膝の痛みを訴え、翌日に腫れが見られるので受診し、レントゲン撮影では骨に異常なし。家族へ連絡と謝罪をする。

2) 短期入所利用者 男性 20歳 区分6 ADL全介助

短期入所利用者が朝食の副菜を誤嚥し、意識消失する。進行性の病気のため、朝食は介助にて本人のペースで咀嚼していたが、ほどなく苦しさを訴える。自発呼吸無しの状態になったため、救急車で主治医の病院へ搬送する。家族へ連絡と謝罪をする。

3) 入所利用者 女性 67歳 区分6 ADL全介助

入所利用者が右側臥位から伏臥位に近い姿勢で、ベッド柵に左手、左膝を差し込んだ状態になっているのを発見。四肢が挟まらないよう柵を毛布で覆っていたが、発見時、毛布は落ちていた。念のため受診し、レントゲン撮影では骨に異常なし。家族へ連絡と謝罪をする。

4) 入所利用者 男性 57歳 区分3 ADLほぼ自立

歩行器を使用し自立歩行する入所利用者の歩行器が朝方、廊下に倒れているのを発見。本人に確認し、左側へ倒れたことがわかる。当初は痛みの訴えはなかったが、夜間から翌日にかけて痛みと腫れがあるため受診し、レントゲン撮影では骨に異常なし。家族へ連絡と謝罪をする。

5) 入所利用者 男性 56歳 区分5 ADL一部介助

入所利用者入浴時に右手の痛みを訴えがある。夕方、腫れもあるため医務が処置する。入浴準備のため居室にて移乗介助時に痛めた可能性がある。翌日に受診し、レントゲン撮影では骨に異常なし。家族へ連絡と謝罪をする。

【千葉県への感染症報告 3件】

3件とも職員が家庭内感染による新型コロナウイルス陽性と診断された。

【苦情等について】

「みんなの声」ポストへの投函はなかったが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、家族と施設入所利用者の面会に制限を実施したことから、必要な情報は迅速な連絡と丁寧な説明を心がけて、コミュニケーションを図るよう取り組んだ。

相談支援事業所ハピネス浜野

(計画相談支援・障害児相談支援)

目 標

- ・地域に密着した支援、障害児・者や家族の思いを可能な限り実現できるよう相談を行う。
- ・勉強会や相談支援に必要な研修に参加し、異業種、他事業所との交流に努め、ネットワークを構築していく。
- ・福祉や相談に関する知識・技術の習得に努め、知識・技術に基づいた様々な対応ができる知恵と高い専門性を持てるよう継続的に研鑽を積む。

[報告事項]

- 1) 計画相談支援新規契約は、障害者 5 件・障害児 11 件 総合計 135 件 (令和 4 年 3 月 31 日時点)。契約終了者は、障害者 15 件。障害児 5 件。内訳は、死亡終了 1 件、サービス利用の希望なし 2 件、事業所変更 17 件となっている。
- 2) 新型コロナウイルス流行に伴い、訪問や面会に制限を設けている事業所が多かった。利用者宅への訪問は、事前に希望を確認し、状況に応じて実施した。訪問できない場合は、電話やメール等様々な方法を活用し聞き取りを行った。対面でお話しを伺う機会が減り、本人やご家族の様子の把握しづらさがあった。
- 3) 相談支援関係の研修はコロナ禍の為、対面による研修は中止が相次いだ。オンラインで参加可能な研修には積極的に参加しスキル向上に努めた。

【資金収支計算書による予算・実績】

	計画	実績	差異
計画相談支援事業収入 (千円)	4,502	4,709	207 (104.5%)
障害児相談支援事業収入 (千円)	1,556	2,028	472 (130.3%)
合 計	6,058	6,737	679 (111.2%)

【直近 5 年間の利用者の推移】

(計画相談支援)

	29 年度	30 年度	31 年度	2 年度	3 年度
計画書作成件数 (件)	75	83	87	74	74
モニタリング件数 (件)	155	158	238	260	225
新規契約件数 (件)	6	11	7	5	5
3 月 31 日時点契約件数 (件)	103	108	112	111	97
事業収入 (千円)	2,757	2,644	3,287	4,216	4,709

(障害児相談支援)

	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度
計画書作成件数(件)	23	44	36	34	43
モニタリング件数(件)	37	77	95	86	73
新規契約件数(件)	5	15	5	7	11
3月31日時点契約件数(件)	20	34	33	34	38
事業収入(千円)	821	1,412	1,526	1,417	2,028

【ヒヤリハット・事故報告等】

ヒヤリハット 1件 (前年 0件)

事故報告 1件 (前年 0件)

児童通所支援事業所ハピネス浜野

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

[報告事項]

- 1) 新型コロナウイルスの感染予防に努めた。
- 2) 固定利用児の利用回数をご家族と相談し、必要に応じ利用日の調整を行った。
- 3) 個別支援計画書の理解に努め、個々の利用児の課題に取り組んだ。
- 4) 特別支援学校や他事業所との連絡を積極的に実施し、情報収集や共有に努めた。
- 5) ヒヤリハットや事故報告が起きた場合は情報共有し、早期に部署内で話し合う時間を持ち、問題点を探り解決方法を見つけられるよう努めた。
- 6) ハピネス通信にて活動の様子を伝えた。
- 7) 新規契約は児童発達支援に1名。

【資金収支計算書による計画・実績(児童発達支援事業+放課後等デイサービス)】

	計画	実績	差異
児童発達支援利用者延べ人数(名)	261	259	△2
放課後デイ利用者延べ人数(名)	678	713	35
合計(名)	939	972	33
児童発達支援1日あたり平均利用者数(名)	1.0	1.2	0.2
放課後デイ1日あたり平均利用者数(名)	2.6	2.7	0.1
合計(名)	3.6	3.9	0.3(108%)
児童発達支援事業収入(千円)*	3,289	4,184	895(127.2%)
放課後デイ事業収入(千円)	13,155	13,309	154(101.1%)
合計(千円)	16,444	17,493	1,049(106.3%)

*自発は0.2、放デイは0.8で按分

【直近5年間の利用者の推移（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

※平成27年10月事業開始

	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	4.6	5.3	4.0	3.7	3.9
稼働率（%）	76.7	88.3	66.6	62.0	65
稼働日数（日）	257	256	261	259	259
利用者延べ人数（名）	1,177	1,378	1,056	963	1,020

児童発達支援

目 標

- ・様々な経験を積み重ね、遊びの中から自発性や、自己表現力を育てる。
- ・療育や訓練を通じて、自発性を発揮できるよう関わる。
- ・集団での活動により、家族以外の大人や子供同士の関わりを広げる。

[報告事項]

- 1) 『朝のウォーミングアップ』のカリキュラムを作成し継続して取り組んだ事で、自発的に身体を動かしたり、感情表出を促すことが出来た。
- 2) 集団活動は粗大運動や感覚（触・視・聴・前庭・固有）遊び等を中心に実施した。砂場、ボール、パラバルーン、スライム、マットそり、ボールプール、ブランコ、タオルブランコ、エアートランポリン、斜面台、散歩等、色々な経験が出来るよう取り組んだ。
- 3) 夏休み期間中は、プール遊びを実施し、水の感触を経験し、浮力の中で身体を動かして楽しめるよう、環境を整えた。
- 4) 自発的に姿勢保持や姿勢変換等の機能を高める為に、専門的な訓練の機会を取り入れ、身体機能の向上を促した。
- 5) 長期休み期間等、長期休暇は放デイのお友達との関り、公園で会う同年代の子どもとの関り等、友だちとのやり取りを楽しめるように支援した。
- 6) ちと一緒に、交通機関（電車）や公用車での外出活動を経験出来るよう支援した。

【直近5年間の利用者の推移】

	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度
1日あたり平均利用者数（名）	0.6	0.5	0.3	0.9	1.2
稼働日数（日）	257	256	261	259	259
利用者延べ人数（名）	147	136	84	246	307
事業収入（千円）	1,513	2,683	993	3,260	4,184

放課後等デイサービス

目 標

- ・一人ひとりの障害特性を理解し、快適な時間を送れるよう計画・実施する。
- ・様々な経験を積み重ね、活動や他者との関わりの中から、自発性や自己表現力を伸ばす。

[報告事項]

- 1) 触刺激を中心に体幹刺激を入れるカリキュラムを作成し取り組んだ事で、覚醒率が上がり自発的に身体を動かしたり、感情表出を促せた。
- 2) 休み等には小集団で外出活動を取り入れ、月齢に応じ周囲にも興味関心や社会性を付けられるよう、グルーピングや外出場所を考慮し支援した。
- 3) の関りが必要な状況の児童に対しては、1対1でじっくりと関わる時間を設けたり、散歩に出かける等の配慮をし、個々に快適な時間が送れるよう努めた。
- 4) 活動の中に、粗大運動や感覚遊び等を取り入れ、様々な(ボール投げ、ボールプール、タオルブランコ、斜面台、散歩等)経験が出来るよう取り組んだ。また、微細運動(紙ちぎり、新聞遊び、小麦粉粘土、ボードゲーム等)も取り入れる事で、自発的に訴える等の感情表出を促せるように支援した。

【直近5年間の利用者の推移】

	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度
1日あたり平均利用者数(名)	4.0	4.8	3.7	2.8	2.7
稼働日数(日)	257	256	261	259	259
利用者延べ人数(名)	1,030	1,242	972	717	713
事業収入(千円)	13,468	21,558	14,652	13,528	13,309

【行事等実施報告】

月	行事内容	場 所
4月	お花見	ハピネス周辺
5月	端午の節句	ねむの木広場
7月	七夕	ねむの木広場
8月	スイカ割り	ハピネス浜野内の中庭
10月	オータムフェス	ねむの木広場
12月	クリスマス	ねむの木広場
3月	ひな祭り	ねむの木広場
3月	卒業式	ねむの木広場
*月間活動：誕生会 *外出活動：長期休み時等に小集団にて、グループにあった外出活動を提供 *夏休み：ハピネス浜野内の中庭にてプールを実施		

【ヒヤリハット・事故報告等】

1) 発見・気づきシート 3件

不適切	1
気づき	1
食事時	1

2) ヒヤリハット報告 16件 (前年度 21件)

食事時	2
薬	1
返却忘れ	3
送迎時	6
確認不足	2
活動時	2

送迎時に、チャイルドシートや車いすの積み忘れがあった。

3) 事故報告 3件 (前年度 22件)

返却忘れ	1
物損	2
その他(職員)	1

【苦情等について】

千葉県運営適正化委員会より、利用児童の家族より職員の対応について苦情があったと連絡があった。職員と面談を実施し、今後の対応を検討した。保護者へハピネス通信で改善していく旨を記載し、個別に配布・対応した。

グループホームセレニテ

(共同生活援助)

目 標

- ・利用者の心身の状況に応じた生活スタイルを確立できるよう援助する。
- ・利用者主体で行事の計画を立て、実施する。
- ・適切な財務と運営管理を行う。
- ・2棟目に向けて、他グループホームの情報収集やニーズを把握する。

[報告事項]

- 1) 新型コロナウイルス感染症対策のため、利用者の買い物同行は1回/月に留め、外出活動は密にならない場所を選定した。
- 2) 利用者の定期受診の付き添い（皮膚科・婦人科）3回、腰痛の訴えによる受診付き添い1回。私物購入の付き添い1回
- 3) 利用者1名：新型コロナの濃厚接触者となり自宅療養（3/22～4/1）
- 4) 令和3年度行事予定の花見は桜の開花が早かったため、令和2年度3月中に実施した。

【入居者年齢構成】

令和4年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
セレニテ 入居者	男	0	0	2	0	2	0	0	4
	女	0	1	0	0	1	0	0	2
計		0	1	2	0	3	0	0	6

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	2,117	2,115	△2
1日あたり平均利用者数（名）	5.8	5.8	0.0（100.0%）
事業収入（千円）	20,776	20,900	124（100.5%）

【直近5年間の利用者の推移】 ※平成27年5月事業開始

	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	5.6	5.8	5.8	5.8	5.8
稼働率（%）	93.4	96.6	96.6	96.4	96.6
稼働日数（日）	365	365	366	365	363
利用者延べ人数（名）	2,053	2,120	2,129	2,112	2,120
事業収入（千円）	17,745	18,575	19,168	19,809	20,900
平均障害支援区分	3.5	3.5	3.8	3.8	3.8

【活動実施報告】

月	活 動	場 所
9月	花火	グループホームセレニテ
11月	外出活動（紅葉狩り）	昭和の森
12月	忘年会	グループホームセレニテ
土日	買い物	ベイシア（八幡店）

【ヒヤリハット報告】

	ヒヤリハット件数
移動時	3件
移乗時	1件
食事時	1件
服薬	2件
異物混入	1件
返却忘れ・間違い	1件
その他（利用者）	1件
送迎時	1件
確認不足	6件
合計	17件

前年度 21件

【事故報告】

	事故件数
転倒（自立）	2件
転倒（要介助）	1件
ずり落ち（自立）	1件
服薬	2件
器物破損	0件
異物混入	1件
その他	1件
合計	9件

前年度 17件

【法人職員研修・実習生受け入れ等実施報告】

月	研 修 等	実習生等受け入れ
4月		介護実習 2 2名
5月	アセスメントの本質理解 介護職のための基礎的医学知識 介護技術向上研修（排泄の基礎知識・ポジショニング） 社会福祉士会基礎課程 障害者グループホーム等連絡協議会研修	
6月	高齢障害者の基礎知識 心理と福祉のためのグループスーパービジョン 感染対策研修（千葉市障害福祉サービス課）	介護実習 4-① 2名
7月	事故防止活動の管理者マネジメント 経営者・管理者を悩ます福祉現場における「問題職員」への対応策 千葉県てんかん支援拠点病院研修 吐物処理研修（内部：感染症対策委員会） 手洗い研修（内部：安全衛生委員会）	
8月	身体拘束グレー案件を考えよう（内部：身体拘束廃止委員会）	相談援助実習 2名 介護実習 3 2名
9月	基礎介護技術の点検 甲種防火管理者再講習 消火器訓練（内部：防犯・防災委員会）	
10月	障害者虐待防止・権利擁護研修 甲種防火管理新規講習	介護実習 1 2名

11月	県身協職員研修会 事例発表会「4S運動」 福祉職員コース別キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー・中堅職員・管理職員） 福祉サービス苦情解決研修会	介護等体験 6名
12月	千葉県循環器病センター「てんかんの基礎知識と最新の治療」	介護等体験 1名
1月	不適切なケア・虐待の未然防止研修（内部：虐待防止委員会）	介護実習2 2名
2月	改正育児・介護休業法説明会	介護実習4-①② 1名
3月	第34回経営セミナー	

研修等

- ・介護福祉士実務者研修を5名の職員が受講し、全員修了した。
- ・職員それぞれのキャリアパスに応じた資質向上を図るため、全社協キャリアパス対応生涯セミナー等に参加した。
- *外部研修参加者は、オンラインでの研修が多かったため、記録の回覧とした。
- **委員会主催で研修会を実施した。

実習生等受け入れ

- ・介護等体験実習生を教職課程の一環として各大学から計7名を受け入れた。
- ・相談援助実習生を明治学院大学、淑徳大学から各1名ずつ受け入れた。
- ・京葉介護福祉専門学校より介護実習として、のべ11名の実習生を受け入れた。
- *実習生の受け入れは、実習2週間前より検温と毎日の検温、体調把握を行った。

【法人内委員会・諸会議実施報告】

① 安全衛生委員会 … 職員の安全及び労働衛生の改善

[報告事項]

- 1) 職員健康相談の相談数は年間2件で、体調や働き方について産業医に相談した。
- 2) 部署内では大掃除を2回、産業医とともに衛生管理者が施設内巡回を1回実施した。
- 3) 手洗い研修（7月）：ハンド手洗いチェッカーを使用して洗い残しと手洗い方法の再確認。ハンドペタンチェックを使用して、手にどの程度菌が付着しているか視覚で確認する。
- 4) 健康診断（腰痛検査含む）、インフルエンザの予防接種、ストレスチェックを実施した。
- 5) 新型コロナウイルスの感染予防対策について継続して、予防対策の方法について職員への周知・館内消毒・来館者の手指消毒の強化を行った。
- 6) 労災事故：2件 生活支援員（打撲等）
- 7) 時間外労働超過者：0件
- 8) 休職者：3名（傷病）
- 9) 育児休業者：1名（生活支援員）

② リスクマネジメント委員会 … 施設全体のリスクマネジメント

[報告事項]

- 1) ヒヤリハット報告書の様式を下期より変更した。危険予知、ヒヤリハット時の自身の振り返り等を記載し、委員によるフィードバックを行い、再発防止を図った。
- 2) 事故報告書では、各部署で原因分析の追求、改善策を講じた効果の実証といった検証の流れに沿って再発防止の取り組みを実施した。
- 3) 利用者への支援内容の確認や実施したことの記録、家族からの伝言を記載する用紙（温度板）を作成し、統一した介護や情報共有に努めた。

③ 感染症対策委員会 … 施設内感染の予防及び発生防止のための対策と職員教育

[報告事項]

- 1) 今年度はインフルエンザ・感染性胃腸炎等の発生みられず。コロナウイルス感染症においては家庭内での濃厚接触数名と家族内感染により職員3名の感染報告あったが施設利用者への感染拡大はなかった。
- 2) 感染予防対策として加湿空気清浄機の稼働・マスク・手洗い・換気・ソーシャルディスタンスの等の周知・家庭内での予防についてのポスター作製と掲示。感染予防自己チェックシート配布集計・環境巡視（ハピネス浜野・グループホームセレニテ・厨房）を年3回実施し、支援者会議等にて報告し改善に努めた。
- 3) 嘔吐物処理演習については職員研修（新人・職員）を行うことで手順を確認し手技の統一を行った。コロナ発生時や発熱時の対応について委員間での研修を行うことで情報の共有を図った。

④ 環境改善委員会 … 建物、設備等の改善、福祉サービスの向上

[報告事項]

- 1) 4S運動の継続のため、チェックリストを作成して活用した。
- 2) 県身協職員研修会で、委員が「4S運動」について発表した。
- 3) 修繕が必要な個所については、発見・気づきシートを活用して報告した。
- 4) 生活支援課員のユニフォーム（通気性や耐久性、デザイン等）について見直した。

⑤ 身体拘束廃止委員会 … 不要な身体拘束のない介護の実践に向けた取り組み

[報告事項]

- 1) 毎回、前回、話し合われた内容をあらためて確認し検討事項が途切れないよう実施した。
- 2) 身体拘束に関する同意書の作成、利用者家族への説明および署名をいただいた。
- 3) 職員に対して研修を計画、実施した。

⑥ 虐待防止委員会 … 虐待に関する調査と検討 人権擁護・虐待防止のための職員教育

[報告事項]

- 1) 虐待の早期発見や自身の振り返りをする為の「職員セルフチェックリスト」は、2回（6月、12月）実施した。同リストの集計結果から、虐待と思われる行為及び虐待へと繋がりそうな言動等はなかった。
- 2) 生活支援課より不適切なケア報告1件あり。同報告は、各部署で供覧すると共に、サービス管理責任者と協働し対応策や改善方法について検討した。
- 3) 全職員対象で虐待防止研修を実施した。事前ワークやグループワークを取り入れ、虐待や不適切なケア防止に関する意識等について職員間で意見交換する機会を設けた。
- 4) 虐待・不適切なケア防止に関するポスターを館内各所に掲示し、啓発活動を行った。

⑦ 防犯・防災委員会 … 防災計画の立案・実施と防犯・防災対策の推進、内部研修の実施

[報告事項]

- 1) 水消火器を使用し、消火器の使い方について研修を実施した。
- 2) 防災備蓄庫内の整理を行い、備蓄品の在庫数把握ならびに追加購入品の確認を実施した。(新型コロナウイルス関連備品と事前災害関連備品)
- 3) 利用者参加で避難訓練(総合、夜間想定)を実施した。

⑧ 行動評価検討委員会 … 行動目標の推進・目標の振り返り・次年度目標作成の実施

[報告事項]

- 1) 今年度行動評価項目の見直しを行った。
- 2) 次年度行動評価項目の検討、項目案を作成した。
- 3) 行動目標の定着、推進に向けた取り組みを実践した。
- 4) 一次面談について面談者の選定、準備、面談期間の設定、面談を実施した。

⑨ 広報委員会 … 法人・施設の情報提供・広報活動

[報告事項]

- 1) ホームページ・フェイスブック・ツイッターの定期的な更新を行った。
- 2) 毎月ハピネス通信を発行。利用者・保護者へ配布と館内へ掲示し、外掲示板へは活動の写真等を掲示した。

⑩ 委員長会 … 各委員会の委員長による情報共有

[報告事項]

- 1) 委員会間での情報共有を行い、感染症対策と防犯・防災による備品の整理・購入等を実施した。
- 2) 今年度は2回の開催だったので、計画通り実施したい。

⑪ 運営会議 … ハピネス浜野の運営管理

[報告事項]

- 1) 新型コロナウイルス予防策について検討した。
- 2) 3階浴室改修・浴槽選定等について検討した。

⑫ 給食会議 … 利用者の食事全般や衛生に関する取り組み、給食委託業者との話し合い

[報告事項]

- 1) 給食委託業者と施設長・栄養士が参加して、2か月に1回、利用者の喫食状況の把握、食事形態・量の検討を行い適宜変更し、食事を提供した。令和2年12月から生活相談員、児発管も参加し、食札の改定・児童おやつの検討等を行った。
- 2) 行事食の検討および防災食の状況について報告した。
- 3) その他、厨房機器や食器購入、感染症への対策等について確認した。

⑬ 全体会議 … 全職員へ法人・施設の報告事項を伝える

[報告事項]

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1) 利用者関連事項、事務（給食）、行事関係等を報告し、検討した。2) 新型コロナウイルス感染予防の情報共有を図った。3) 規程の説明や理事会の報告、各委員会研修を実施した。 |
|---|

⑭ 経営会議 … 法人、各事業の関係者による運営管理

[報告事項]

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1) 要綱を作成し、法人事業の運営について検討した。 |
|--|

令和3年度 委員会会議及び研修等実施表（*会議月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会 5.9.1月		*25日 前年度、4.5月報告・調整			*6.7.8月報告・調整							
安全衛生 毎月1回(月次水) 長岡先生の予定で	年間計画作成 研修 (内容)	危険物確認 大掃除	報告 大掃除	報告 大掃除	健康診断 健康診断							
リスクマネジメント 奇数月第2(水)	前年度の件数、内容精査	*13日 前年度振り返り	*8日 手洗い研修	*8日 環境報告会 後の取り組み	*9日 環境報告会 後の取り組み							
感染症対策 偶数月第1(水)	*7日 年間計作成	環境巡視 自己チェック	*2日 一報告	*5日 感染予防、食中毒予防 防ボスター	*5日 感染予防、食中毒 防ボスター							
環境改善 4.7.10.1月 第3(水)	*21日 年間計画 改善課題確認	改善計画実施	嘔吐物処理研修	*21日 改善計画 評価 →環境改善実施	改善計画実施 →4S改善策をグループ 単位で実施							
身体拘束廃止 4.7.10.1月 第4(水)	*27日 ケース検討 チャック確認			*27日 ケース検討 研修会準備	既存拘束の検討 グループ発表 ○(予定)							
虐待防止 4.7.10.1月 第2(水)	*14日 前年度からの 引き継ぎ、活動予定、役 割			*14日 チャックリスト 集計結果、虐待防止 集計結果	*16日(臨時)集計結果 集計結果、虐待防止 集計結果							
防犯・防災 5.8.11.2月 第1(月)	連絡網作成(順度)			*10日 連絡網作成(順度)	*11日 連絡網作成(順度)							
行動評価検討 6.10.11.12.1月												
広報 4.10月												
全体会議 毎月第4(木・金)	*22-23日 事業計画 連絡	*27-28日 事業計画 連絡	*24-25日 事業計画 連絡	*29-30日 事業計画 連絡	*26-27日 事業計画 連絡	*23-24日 事業計画 連絡	*28-29日 事業計画 連絡	*25-26日 事業計画 連絡	*23-24日 事業計画 連絡	*27-28日 事業計画 連絡	*24-25日 事業計画 連絡	*24-25日 事業計画 連絡
給食会議 偶数月第4(火)	*20日 給食会議	*15日 給食会議	*15日 給食会議	*15日 給食会議	*17日 給食会議	*19日 給食会議	*19日 給食会議	*19日 給食会議	*21日 給食会議	*15日 給食会議	*15日 給食会議	*15日 給食会議
経営会議 奇数月第4(水)	経営報告書作成	経営報告書作成	経営報告書作成	経営報告書作成	経営報告書作成	経営報告書作成	経営報告書作成	経営報告書作成	経営報告書作成	経営報告書作成	経営報告書作成	経営報告書作成
運営会議 毎月第3(木)	*15日 運営会議	*20日 運営会議	*17日 運営会議	*15日 運営会議	*19日 運営会議	*16日 運営会議	*21日 運営会議	*18日 運営会議	*16日 運営会議	*20日 運営会議	*17日 運営会議	*17日 運営会議